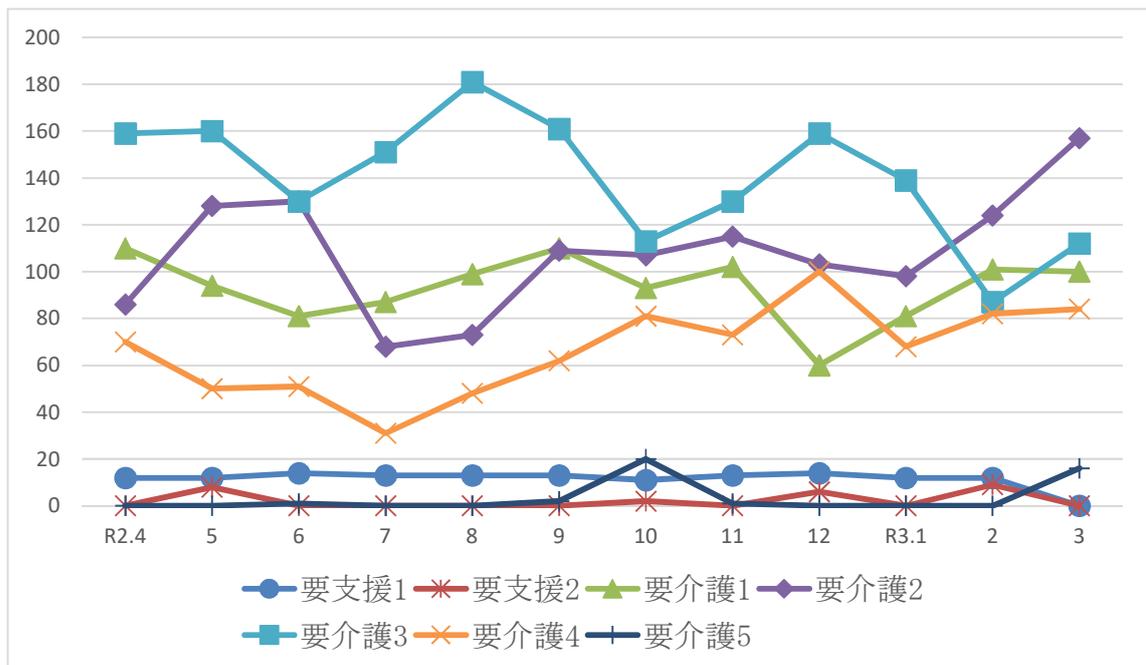


令和2年度 ショートステイ年間報告

	要支援1 実人数	要支援2 実人数	要介護1 実人数	要介護2 実人数	要介護3 実人数	要介護4 実人数	要介護5 実人数	月合計	充足率	月平均 介護度
R2. 4	12	0	110	86	159	70	0	437	97%	2.4
5	12	8	94	128	160	50	0	452	97%	2.3
6	14	0	81	130	130	51	1	407	90%	2.3
7	13	0	87	68	151	31	0	350	75%	2.2
8	13	0	99	73	181	48	0	414	89%	2.3
9	13	0	110	109	161	62	2	457	102%	2.5
10	11	2	93	107	113	81	20	427	92%	2.2
11	13	0	102	115	130	73	1	434	96%	2.2
12	14	6	60	103	159	100	0	442	95%	2.3
R3. 1	12	0	81	98	139	68	0	398	86%	2.2
2	12	9	101	124	87	82	0	415	99%	2.1
3	0	0	100	157	112	84	16	469	101%	2.3

年間平均充足率	最高・最低充足率	年間延べ人数	年間平均介護度
93%	102%・75%	5102	2.3

月平均利用者数	1日平均利用者数
39人	14人



令和2年度は年間平均充足率は93%、平均介護度は2.2となっている。月充足率では最高102%となっており、100%を超える月が2回あり、最低が75%であった。前年度と比較すると年間平均充足率は-4%の減少となっている。要因としてはご利用中の入院が大きな点であることは前年度と変わらないが、ロングで利用していた利用者が数名同時期に入院となったことで、7月に75%と大きく落ち込み、翌月まで引きずる形となった。また、入院者が出た際に退院を見越して先に利用予定を入れていたが、入院が長引いたり転院されたりして実際にはショートステイの利用に繋がらなかったこともあり、充足率低下の要因の一つとなった。

その後は入院された段階で一旦全ての利用予定を白紙に戻し、改めて依頼があった段階での空床状況で対応へ変更している。